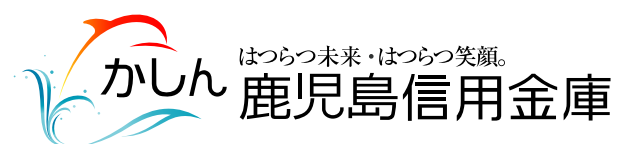




2012

Kashin Disclosure
かしん ディスクロージャー



2012 Kashin Disclosure



ごあいさつ

皆様には、平素より鹿児島信用金庫をご愛顧、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

ここに当金庫第90期業務概況と決算についてご報告するとともに、当金庫に対するご理解を深めていただき、今後一層のご愛顧を願って、ディスクロージャー誌「2012 かしんディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧の上、当金庫の経営内容についてご理解いただければ幸いに存じます。

さて、平成23年度は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の影響により、年度前半はマイナス成長を余儀なくされたものの、サプライチェーンの復旧と自粛ムードの低下につれて、経済活動は持ち直しの動きがみられ、雇用情勢にも改善の兆しが見え始めました。また、円高の長期化や海外経済の減速に加えて、タイでの大洪水による部品不足の影響もあって、生産活動は一時伸び悩んだものの、復興関連支出の本格化が景気を下支えし、景気は緩やかながらも持ち直しの動きがみられました。

私どもの地元鹿児島県においても、迎える平成24年度は、九州新幹線全線開業効果による観光関連及び鹿児島中央駅周辺の再開発等に期待が持てるものの、県内企業においては、大手メーカーの県内誘致工場の撤退や県外資本による大型小売店の進出などにより競争の激化や環境変化が予想され、全体として厳しい状況が予想されております。

このような環境の中、当金庫は、今まで以上に地域経済の活性化につながる事業活動や取引先の実情に応じたきめ細かな対応に努め、中小企業金融の円滑化に引き続き全力で取り組むとともに、会員様、地域の皆様との連携をさらに深め、お客様満足度が向上する金融サービスを提供し、地域に新たな資金需要を生み出すことによって、地域社会の持続的な発展と地域の課題解決に貢献する経営に取り組んでまいります。

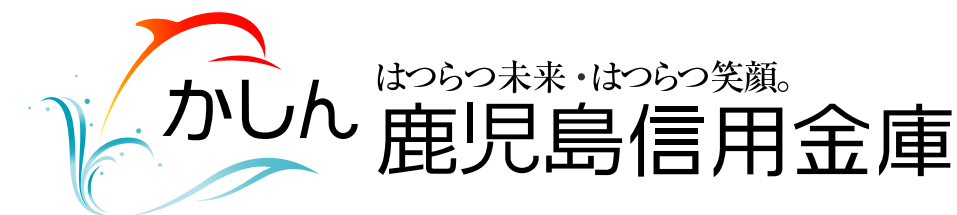
また、平成24年度は新中期計画「成長への挑戦～金庫の持続的な発展と地域の課題解決を目指して～」の初年度であり、平成24年10月には金庫創立90周年を迎えます。これまで創立から90年の間、地元のお客様に支えられて今日の鹿児島信用金庫があるということを再確認するとともに、これからも地域社会とともに成長していくことに役職員一同全力を尽くしてまいり所存であります。

皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成24年7月
理事長 後藤 孝行



●コーポレートマーク



CONTENTS

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
役員	3
組織図	4
新中期計画	5
23年度の事業概要	6
鹿児島信用金庫と地域社会	9
お取引先・地域とのつながりについて	11
90周年事業の軌跡	13
内部統制システム	19
コンプライアンス	21
リスク管理	23
苦情処理・紛争解決	26
信用金庫のしくみについて	29
業務内容	33
店舗一覧	37
信金中央金庫のご案内	40
主要事業内容・沿革	41
資料編	42

当金庫の概要

本店所在地／鹿児島市名山町1-23

創立／大正11年10月1日

会員数／44,194人

出資金／40億56百万円

預金／2,893億円

貸出金／1,920億円

店舗数／44ヶ店(代理店含む)

常勤役職員数／481人

(平成24年3月31日現在)



前列左から（中俣専務理事、後藤理事長）
後列左から（坂元常務理事、中村常務理事、原蘭常務理事）

役員

（平成24年6月22日現在）

■理事長 後藤 孝行	■常務理事（融資部長） 原 蘭 勉	■常勤理事（経営管理部長） 武田 文昭	■常勤監事 北 蘭 幸一
■専務理事 中俣 義公	■常勤理事（監査部長） 山 神 盛	■理事（相談役） 岩 男 秀彦	■監 事 小 正 芳史
■常務理事（総務部長） 中村 和人	■常勤理事（業務統括部長） 田 實 武人	■理 事 近 藤 健	■監 事 迫 貞義
■常務理事（営業推進部長） 坂元 次男	■常勤理事（本店営業部長） 西 哲 郎	■理 事 菅 井 憲郎	

※監事 迫 貞義は、信用金庫法第32条第5項で定める員外監事であります。

経営理念

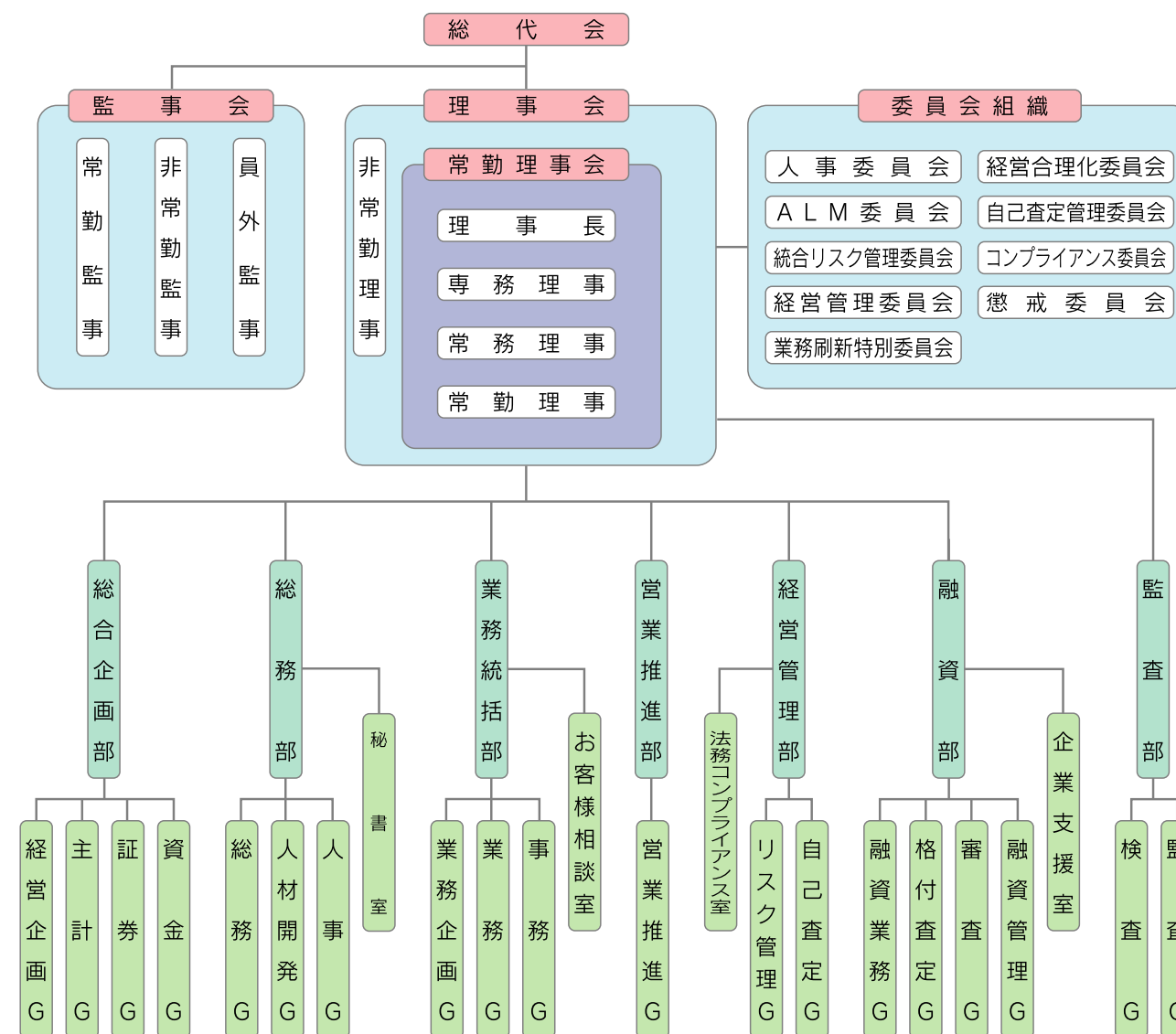
中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のため地域金融機関として密接な関係づくりに努めるとともに、経営活動を最大限に効率化し、いかなる環境変化にも耐え得る経営体質をつくりあげ、お客様の総合的パートナーとして、また地域文化の発展に役立つ金融機関として皆様とともに成長・発展を目指します。

基本方針

- 我々は地域経済の伸展に寄与する。
- 我々は自己の職責を誠実に果たす。
- 我々は中小企業者へ奉仕する。
- 我々はお互いの資質向上に努める。
- 我々は金庫の健全経営に協力する。

組織図

（平成24年6月1日現在）



新中期計画 『成長への挑戦』

～金庫の持続的発展と地域の課題解決をめざして～

●外部環境

地域経済・中小企業	国際経済・金融環境	金融行政	その他	東日本 大震災
・総人口、生産年齢人口の減少による消費（内需）に低迷 ・国内産業の空洞化懸念 ・デフレ環境 ・地域経済の疲弊	・国際金融市場の不安定化 ・新興国・資源国の成長に暗雲 ・経済のグローバル化 ・地球環境問題	・金融システムの安定（信用秩序の維持）、利用者保護・利用者利便の向上、市場の透明性・公共性の確保を柱とした金融行政 ・バーゼルⅢ、国際会計基準等国際的な動向への対応	・不安定な政治情勢 ・財政悪化 ・エネルギー問題	

●計画理念

様々な地域主体を結び付ける役割を発揮し、お客様満足度が向上する金融サービスを提供することにより、新たな資金需要を生み出し、地域社会の持続的な発展に貢献することを目指す。

●具体的方策

- 1. 持続性のある経営の確立**
 - (1) 内部管理態勢・情報開示の充実・強化
法令等遵守態勢の強化、リスク管理と顧客保護の重視、経営の透明性確保
 - (2) 経営効率の向上
経営資源の選択と集中による収益源の確保、業務の標準化による効率化
 - (3) 地域を支える信用金庫人の育成
課題解決型金融・新成長分野や海外への進出支援を担う人材の育成
- 2. 課題解決型金融の強化**
 - (1) 地域主体との連携強化
地域の情報仲介・発信機能の担い手、地域関係機関との連携強化
 - (2) 地域住民への情報発信の強化
個人のライフライン支援、健全な生活設計の支援、青少年への金融教育、高齢者の課題対応
 - (3) 組織・営業態勢の見直し
コンサルティング機能の強化、専担者の充実、7×24重視の評価制度
- 3. 独自性の発揮**
 - (1) 高密度経営の徹底
充実した対面サービスを活かす取組みの推進、地域の面的活性化に向けた取組み強化
 - (2) 会員満足度の向上
長期安定的な金融機能の提供、会員組織の強化、企業・会員・地域間の架け橋
 - (3) 業界総合力の活用
地域を超えた広域連携の推進、金融サービスやシステム等の共同開発・利用

●基本方針

1. 持続性のある経営の確立
2. 課題解決型金融の強化による地域社会活性化へ貢献
3. 独自性の発揮により地域社会での存在価値を高める

●内部環境

鹿児島信用金庫の現状	経営基盤改革プログラム
○県内外金融機関による競争激化 ・低金利による他金融機関との競争 ・存在価値を高める必要性 ○収益力の低下 ・信用コスト増加による収益圧迫 ・利ざやの縮小（競合激化） ・余資運用環境の激変 ・経費の下げ止まり ○90周年事業の完遂 ・周年事業の効果的実施による完遂 ・100周年に向けての基盤作り ○内部管理態勢（リスク管理、コンプライアンス、顧客保護）の充実の必要性 ・金融機関として存在するために必要な内部管理態勢の充実による顧客および金融当局の信頼性の維持	1. 経営基盤改革の基本方針 平成24年度から平成26年度の3年間で経営基盤改革期間とし、業務体制の効率化に集中的に取り組む。 2. 経営基盤改革の主な取組み 収入の面では、最大の戦力である渉外は事業性融資推進へ傾注するような営業体制をとるとともに、審査態勢や融資管理部門の強化により信用コストの削減を図る。 支出の面では、徹底した効率化の推進、経営資源（主に人材）、本部集中業務のアウトソーシングを進めるなど経営効率化を図る。

23年度の事業概況

事業方針

平成23年度は、3ヶ年計画（平成21年4月1日～24年3月31日）の最終年度として、「コンプライアンス態勢の更なる充実」「収益性の改善」「中小企業金融の円滑化」を金庫全体の事業方針として事業を推進しました。

金融経済環境

日本経済は、東日本大震災の影響により、年度前半はマイナス成長を余儀なくされました。しかし、サプライチェーンの復旧と自粛ムードの低下につれて、経済活動は持ち直しの動きがみられ、雇用情勢にも改善の兆しが見え始めました。また、円高の長期化や海外経済の減速に加えて、タイでの大洪水による部品不足の影響もあって、生産活動は伸び悩んだものの、復興関連支出の本格化が景気を下支えし、景気は緩やかながらも持ち直しの動きがみられました。

県内景況についても、九州新幹線全線開業効果により、観光関連、個人消費を中心に緩やかな持ち直しがみられるものの、全体として厳しい状況が続いています。

業績

当期末における貸出金残高は、新規優良先への積極的な融資推進により、前期末に比べ47百万円増加し、1,920億93百万円となりました。期中平均残高につきましても前期末に比べ32億31百万円増加し、1,924億72百万円となりました。

預金については、「アイホールビルオープン記念 i 定期預金」の販売などにより定期預金が増加したことなどから前期末に比べ76億76百万円増加し、2,893億58百万円となりました。期中平均残高につきましても前期末に比べ141億91百万円増加し、2,932億22百万円となりました。

収益面では、貸出金利回りの低下による業務収益の減少及び預金金利回りの低下による業務費用の減少などにより、業務純益は12億45百万円、経常利益は3億32百万円、当期純利益は2億59百万円となりました。

当金庫が対処すべき課題

迎える平成24年度は、九州新幹線全線開業効果による観光関連及び鹿児島中央駅周辺の再開発等に期待が持てるものの、県内企業においては、大手メーカーの県内誘致工場の撤退や県外資本による大型小売店の進出などにより競争の激化や環境変化が予想されております。

このような環境の中、当金庫は、会員様、地域の皆様との連携をさらに深め、お客様満足度が向上する金融サービスを提供し、地域に新たな資金需要を生み出すことによって、地域社会の持続的な発展に貢献するとともに持続性のある経営に取り組んでまいります。

内部統制については、継続的に内部統制システムの整備を進め、その実効性を確保するため「内部統制基本方針」を定めています。本方針では、理事に委任することなく理事会が決定しなければならない重要な業務執行について、整備すべき態勢及び事項ごとに明らかにするとともに、あわせてさらに強固な態勢を築くため「コンプライアンス部門」「リスク管理部門」及び「内部監査部門」並びに「監事」が担う役割等についても定めており、当該基本方針の実効性の確保に一層努めてまいります。

また、平成24年度は新中期計画「成長への挑戦～金庫の持続的発展と地域の課題解決をめざして～」の初年度であり、平成24年10月には金庫創立90周年を迎えます。これからも地元企業や個人のお客様に満足していただける金融機関として、地域経済の成長、中小企業の事業の活性化に役職員一同全力を尽くしてまいります。

23年度の事業概況

主な経営指標の推移

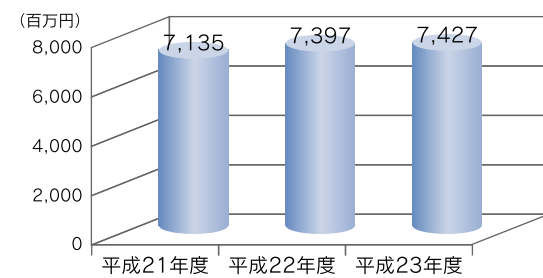
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
経常収益 (千円)	7,580,954	7,217,952	7,135,265	7,397,982	7,427,407
経常利益 (千円)	66,833	△1,665,982	179,037	418,589	332,932
当期純利益 (千円)	177,507	△1,509,585	361,823	377,786	259,023
出資総額 (百万円)	3,944	3,934	3,919	3,858	4,056
出資総口数 (千口)	7,888	7,869	7,839	7,716	8,112
純資産額 (百万円)	12,611	10,669	11,625	11,613	12,215
総資産額 (百万円)	300,208	292,183	295,743	298,875	306,083
預金積金残高 (百万円)	280,533	274,472	278,049	281,682	289,358
貸出金残高 (百万円)	186,523	187,926	190,087	192,046	192,093
有価証券残高 (百万円)	50,996	46,820	48,535	48,952	48,929
単体自己資本比率 (%)	7.77	7.27	7.29	7.40	7.60
出資に対する配当金 (出資一口当たり)	78	78	78	76	77
	(10円)	(10円)	(10円)	(10円)	(10円)

(注)当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。なお、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号)に基づき、当事業年度の「貸倒引当金戻入益」及び「償却債権取立益」は「その他経常収益」に計上しております。

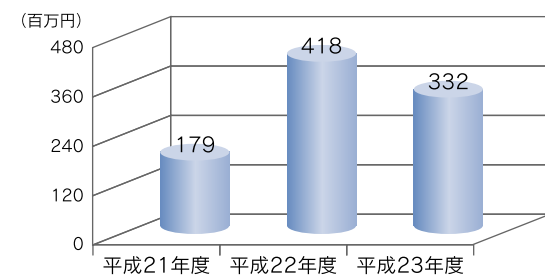
職員数

	20年3月末	21年3月末	22年3月末	23年3月末	24年3月末
職員数(人)	468	480	496	480	472
(うち男性)	314	316	326	303	301
(うち女性)	154	164	170	177	171
平均年齢(歳/月)	37歳6ヶ月	37歳6ヶ月	37歳5ヶ月	35歳9ヶ月	35歳3ヶ月
平均勤続年数(年/月)	15年8ヶ月	15年8ヶ月	14年8ヶ月	13年4ヶ月	13年4ヶ月

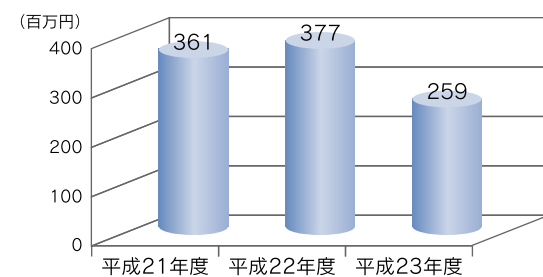
●経常収益



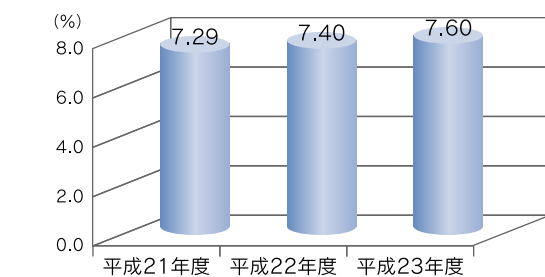
●経常利益



●当期純利益



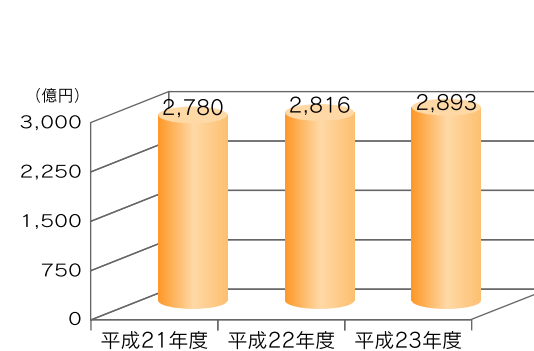
●自己資本比率



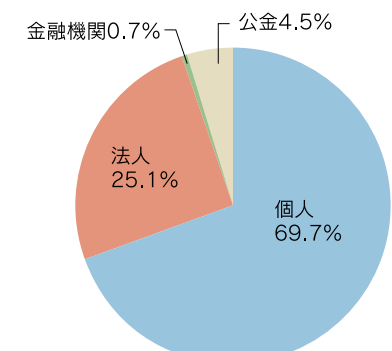
収益面では、貸出金利回りの低下による業務収益の減少及び預金金利回りの低下による業務費用の減少などにより、業務純益は12億45百万円・経常収益は74億27百万円・経常利益は3億32百万円・当期純利益は2億59百万円となりました。

また、自己資本比率は7.60%となり、国内基準による自己資本比率規制(必要な自己資本比率4.0%以上)の基準を満たしております。

●預金積金残高

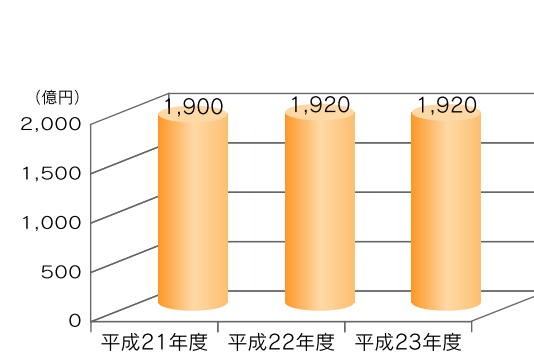


●預金残高全体に占める預金者別割合

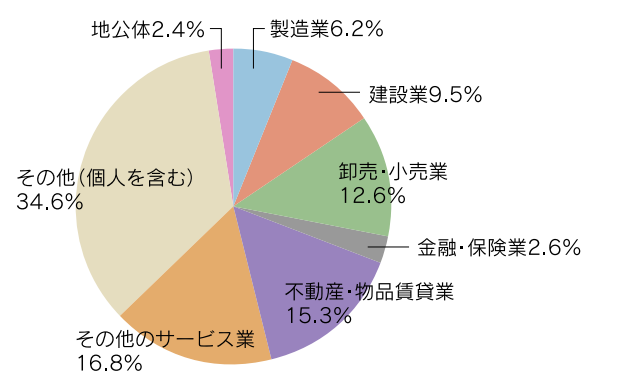


預金については、「アイホールビルオープン記念 i 定期預金」の販売等により定期預金が増加したことなどから、前期末に比べ76億76百万円増加し、2,893億58百万円となりました。期中平均残高につきましても前期末に比べ141億91百万円増加し、2,932億22百万円となりました。預金残高全体に占める預金者別割合については、個人69.7%・法人25.1%・金融機関0.7%・公金4.5%となっています。

●貸出金残高

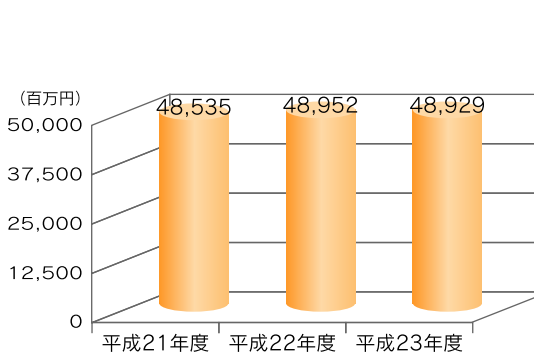


●貸出金残高の業種別比率

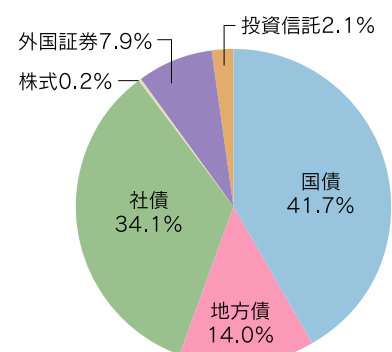


当期末における貸出金残高は、新規優良先への積極的な融資推進により前期末に比べ47百万円増加し、1,920億93百万円となりました。期中平均残高につきましても前期末に比べ32億31百万円増加し、1,924億72百万円となりました。貸出金残高の業種別比率につきましては、製造業6.2%・建設業9.5%・卸売並びに小売業12.6%・金融並びに保険業2.6%・不動産並びに物品賃貸業15.3%・その他のサービス業16.8%・その他(個人を含む)34.6%・地公体2.4%となっており、地域経済の活性化へ寄与するべく幅広いお客様への融資等を推進しています。

●有価証券残高



●有価証券残高の内訳別比率



当期末における有価証券残高は、前期末に比べ23百万円減少し489億29百万円となりました。有価証券残高の内訳別比率につきましては、国債41.7%・地方債14.0%・社債34.1%・株式0.2%・外国証券7.9%・投資信託2.1%と債券を中心にリスク分散を図りながら運用を行っています。

明るい豊かな地域づくりのために



お客様の預金について

お客様からお預かりした大切な預金は、みなさまから信頼をいただいている証であります。お客様の大切な財産の運用を安全に、確実に、気軽にご利用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択いただけますよう各種預金を取り揃えております。

預金積金残高……………289,358百万円

- 主な商品のご案内……33ページ
- 残高等の計数情報……50ページ

地域のお客様へのご融資について

お客様からお預入れいただく預金積金につきましては、お客様の幅広い資金ニーズにお応えし、地元中小企業の健全な発展や豊かな暮らしのお手伝いをすることを使命と考え、円滑な資金の供給を行う形で、お客様や地域社会への還元を行っております。鹿児島県内に所在する事業者のお客様には、設備資金として45,449百万円、運転資金として95,328百万円のご融資をご利用いただいております。また、個人のお客様には住宅資金や消費資金として44,374百万円を、私たちが事業を営んでいる地域の各地方公共団体などにも6,941百万円のご融資をご利用いただいております。

貸出金残高……………192,093百万円

預金積金に占める貸出金の割合……………66.3%

- 主な商品のご案内……34ページ
- 残高等の計数情報……51～54ページ

地域の中小企業へのご支援について

当金庫では、地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

また、地域経済活性化や業績向上に苦慮しているお客様に親身になって相談し、業績、財務内容について一歩踏み込んだ分析を行い、打開のための改善策、経営改善計画書へのアドバイスをするなど、金銭面だけではなく、生きた支援を心掛けております。

中小企業等向け貸出金残高……………176,750百万円

中小企業向け貸出金の貸出金に占める割合……………92.0%

※計数は平成24年3月末現在

—鹿児島信用金庫と地域社会—



お取引先とのつながりについて

会社や商店経営者の皆様が会員となり、異業種間の交流の場として鹿児島信用金庫が事務局を担います。

【かしんハッピー会】

次世代を担う若手経営者の会で、鹿児島の経済活性化を目的として勉強会や研修会を実施しています。

【KYC（鹿児島信用金庫青年クラブ）】

地域とのつながりについて

地域とのつながりを強化することを目的として、鹿児島信用金庫 地域貢献活動の総称名として『**かしんの杜**』（かしん総合人材育成構想）を立ち上げました。



お取引先・地域とのつながりについて

かしん「経営の杜」

かしん経営大学

当金庫では、「経営戦略や企業発展を目指すための勉強をしたい」というお客様、特に若手の経営者の皆様方の声にお応えするために、期間1年間で集中して効果的に学べるスクール形式の「かしん経営大学」を平成8年から開校しております。

設立目的

- 21世紀を目指した経営者としての人間形成をなしていく
- 真のリーダーシップを学び企業経営に役立てていく
- 異業種の交流を通して情報集団として会員の資質向上を図る
- 企業の発展と地域社会の繁栄に貢献する
- 企業人としての発展を目指し鹿児島信用金庫と共に前進していく

特 色

- ☆地元中小企業の若手の経営幹部および事業継承者の皆さまを対象として、21世紀を生き抜く経営戦略や一層の企業発展を目指すための知識・手法を学びます。
- ☆経営に関する諸課題をテーマに研究し、実践するカリキュラムとし、次世代を担う皆さまにトップとして必要な経営能力を最新の情報とともに体系的に身につけていただくお手伝いをいたします。
- ☆少人数にて運営いたしますので、講師との交流、参加者同士での交流が図られ、業種を超えた幅広い人脈づくりに役立ちます。
- ☆修了者には修了証書を授与し、成績優秀者は表彰いたします。
- ☆運営事務局は全て鹿児島信用金庫が担当いたします。
 - ・毎年4月開講
 - ・定員／50名
 - ・毎月第3土曜日講義
 - ・会費／別途会費が必要となります。
 - ・年間12回講義予定(1年間)



平成24年度第16期「かしん経営大学」カリキュラム内容

- | | |
|--|--|
| 第1回 ・中小企業 マーケティング論
ー地方の中小企業成長戦略ー | 第7回 ・新事業開発とビジネスモデル
ー地方を元気にする新事業ー |
| 第2回 ・地域経済の現状と課題
・21世紀型創造経営論Ⅰ | 第8回 ・事業計画の作成Ⅰ
ー事業アイデアの創出ー |
| 第3回 ・21世紀型創造経営論Ⅱ
ー管理者の役割と必要能力ー | 第9回 ・先輩の経営に学ぶⅠ
・事業計画の作成Ⅱ |
| 第4回 ・市場縮小時代の事業戦略Ⅰ
ー勝てる市場を選べー | 第10回 ・先輩の経営に学ぶⅡ
・事業計画の作成Ⅱ |
| 第5回 ・市場縮小時代の事業戦略Ⅱ
ー情報システムと組織営業ー | 第11回 ・先輩の経営に学ぶⅢ
・プレゼンテーション |
| 第6回 ・市場縮小時代の事業戦略Ⅲ
ー独創性を発揮せよー | 第12回 ・卒業式、成果発表
卒業証書授与 |

かしん経営大学ビジネスマッチングプラザ

かしん経営大学ビジネスマッチングプラザは、かしん経営大学生を中心として、主旨に賛同される地域企業の取引拡大やビジネスパートナー探し・新規事業開発をお手伝いするプロジェクトです。



かしん「経営の杜」

かしんトップマネージメント大学

当金庫では、かねてより地域密着型金融の取り組みを積極的に推進しているところですが、お取引先法人企業経営者の人材育成の一助として「かしんトップマネージメント大学」を平成22年から開校しております。

目的および特色

- ☆鹿児島信用金庫の取引先が本講座を受講し、受講内容を経営に取り込み企業の業績を向上させるとともに鹿児島県経済の浮揚を図る。
- ☆税理士や中小企業診断士の講師が専門的に、また分かりやすく講義いたします。
- ☆事務局は鹿児島信用金庫が担当いたします。

実施要項

- ☆受講資格／鹿児島信用金庫とお取引のある法人企業の経営者
- ☆開催期間／平成24年6月 開校式および第一講義
平成24年6月～平成24年11月(6回)
- ◇研修会 毎月1回開催(第二水曜日)各回3時間
講師：税理士・中小企業診断士・能力開発コーチ
- ☆定 員／80名
- ☆受講料／無料(※特別企画等の開催につきましては別途参加者負担をいただく場合があります。)
- ☆研修会会場／鹿児島信用金庫研修センター(鹿児島市紫原4丁目11番2号)



平成24年度「かしんトップマネージメント大学」カリキュラム内容

- | | |
|--|--|
| 第1回 ・経営者で決まる!事業の繁栄と倒産の分岐点
・経営者の仕事とは?
・金融機関との上手なつきあい方 | 第4回 ・人を上手に動かす力(コーチング力)をつける
・会社の強み・弱みの分析と経営計画への活かし方 |
| 第2回 ・経営者の財務 その1(総論)
・経営者の財務 その2(B/S編)
・経営者の財務 その3(P/L編) | 第5回 ・損益分岐点の考え方と経営計画への活かし方
・事例研究 |
| 第3回 ・経営者の財務 その4
(資金繰りとキャッシュフロー編)
・経営者の財務 その5(経営分析編) | 第6回 ・事業繁栄のための経営計画書の作り方 |

かしん「経営の杜」

かしん経営相談室

当金庫はこの度、取引先の経営力強化の手法の一つとして「かしん経営相談室」を開設しました。経営についてお悩みの方はぜひご相談ください。

- 日 時：毎月第1・第3水曜日(10:00～12:00)原則月2回
- 会 場：かしんアイホールビル2階
- 対 象：当金庫取引先の法人企業経営者及び個人事業者
- 相 談：無料。予約制とし、事前に経営相談申込書を頂いたうえでご相談に応じます。

内 容

- 経営全般の相談
- 創業・新事業相談
- 相続・事業承継相談
- 税務相談
- その他

相談員

株式会社
アセットパートナーズ南九州
税理士法人
鹿児島さくら会計の税理士



90周年事業の軌跡

当金庫は、平成24年10月1日に創立90周年を迎えます。これに先立ち平成23年4月より90周年事業を開始しており、現在までに以下のような事業を展開してまいりました。

平成23年5月23日

高見馬場支店（アイホールビル）開店

高見馬場支店をアイホールビル(6F建)として建替え、各種事業での使用や、お客さまへ貸し出すことで、地域に開かれたコミュニティスペースとして利用しています。



90th Anniversary

平成23年7月

90周年クリーン作戦

地域に対し90周年の感謝を込めて、鹿児島市内の店舗職員と本部職員は鹿児島中央駅～鹿児島駅間の市内中心部の清掃活動を、鹿児島市以外の店舗職員はそれぞれの店舗がある屋外公共施設等の清掃を実施しました。



90th Anniversary

平成23年7月

吹奏楽部の制服新調

昭和10年に創部した吹奏楽部は自治体が企画するイベント等への協力参加や社会福祉施設慰問等の社会貢献活動を行っています。90周年を記念して吹奏楽部の制服を新調し新たな装いで活動に励んでいます。

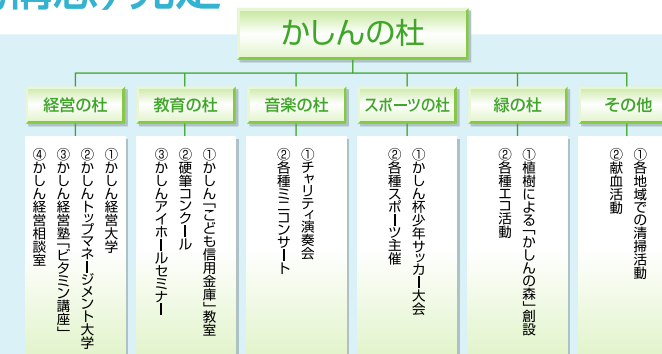


90th Anniversary

平成23年8月

「かしの杜」(総合人材育成構想)発足

当金庫が行う地域貢献活動を体系付けるとともに、地域やお客さまに対し鹿児島信用金庫の地域貢献活動を一目で分かっていただくために「かしの杜」(総合人材育成構想)を発足いたしました。



90th Anniversary

平成23年8月

かしん「こども信用金庫」教室の開催

「かしの杜」の一環である「教育の杜」としてお客さまのご子息や地域の子供たちの金融教育のために、かしん「こども信用金庫」教室を実施しました。今後も継続して実施する予定です。



90th Anniversary

平成23年8月

かしんアイホールセミナー開催

「かしの杜」の一環である「教育の杜」としてお客さまに身近な金融に関するセミナーを実施しました。第1回目テーマ「21世紀の新しいがん治療『粒子線治療』について」今までに4回開催いたしました。



90th Anniversary

90周年事業の軌跡

平成23年9月

かしん経営塾「ビタミン講座」開催

「かしんの杜」の一環である「経営の杜」として企業経営者に対して、事業活動に役立つ実践的な情報を分かり易い形にして提供し、また事業に関する相談に応じて皆様の事業の発展に貢献するものとして「ビタミン講座」を開催しました。



90th Anniversary

平成23年12月

クリスマスコンサートの開催

音楽を通して社会貢献を図ることを目的とした「音楽の杜」の一環としてクリスマスコンサートを開催いたしました。

1部は当金庫吹奏楽部による子供さん向けのクリスマスメドレー。
2部は県内で活躍されているハワイアンバンドの方々の演奏とダンスが披露されました。

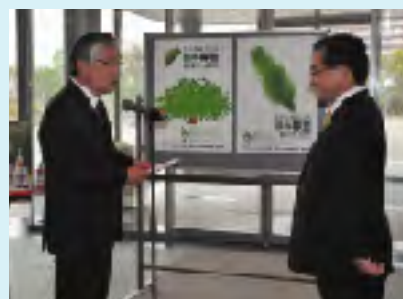


90th Anniversary

平成24年2月

緑の基金への寄附金贈呈式

かしん「緑の杜」計画の一環として、平成23年11月1日から平成23年12月30日まで販売いたしました「かしんの森定期預金」の預入残高の0.02%相当額を「公益財団法人かごしまみどりの基金」へ寄附しました。



90th Anniversary

平成24年3月

かしん杯サッカー大会開催

かしん「スポーツの杜」計画の一環として、「第6回鹿児島信用金庫杯少年サッカー大会」が開催されました。今大会は90周年記念大会として、64チームが出場し、当金庫から全チームへサッカーボールを贈呈しました。

また、当日は「エコキャップ運動」を実施し、ペットボトルキャップ230,640個が参加者の協力で集められ、発展途上国の子供達へ422名分のポリオワクチンを送ることができました。



90th Anniversary

平成24年3月

「若冲・琳派と雅の世界」展への特別協賛

九州新幹線全線開業1周年記念として、平成24年3月28日～5月6日に鹿児島市立美術館で開催された「若冲・琳派と雅の世界」展に当金庫は90周年事業の一環として、地域文化の発展に貢献するため特別協賛いたしました。

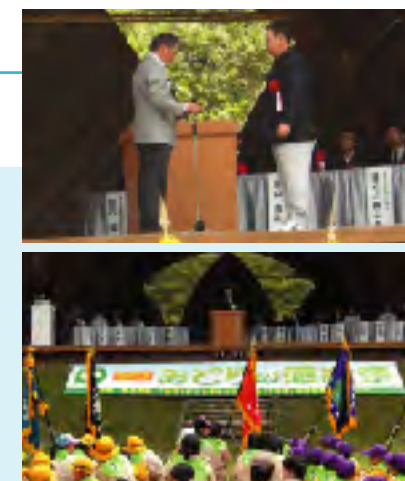


90th Anniversary

平成24年4月

緑の基金感謝状贈呈式

当金庫では、「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために展開しております、「かしん緑の杜」事業による森林づくりや環境緑化の取り組みについて、公益社団法人国土緑化推進機構より感謝状をいただきました。



90th Anniversary

90周年事業の軌跡

平成24年4月

かしん緑の杜による森林づくり活動

当金庫では、「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために、「かしん緑の杜」事業による森林づくりや環境緑化に取り組んでおります。

この一環として、かごしまみどりの基金、鹿児島県森林ボランティア連絡会の皆さまの協力を頂き、県民の森(丹生附地区)にて、当金庫職員とその家族による植樹を行いました。

90th Anniversary



平成24年6月

職員共済会よりバス贈呈

当金庫職員で構成されている職員共済会から当金庫に対してバスの贈呈を受けました。このバスを利用して、各種部活動の移動や職員による催しもの際に利用することとしております。

90th Anniversary



平成24年7月

「ジュディ・オング情玉木版画の世界展」への特別協賛

7月14日～8月19日の期間、鹿児島県歴史資料センター黎明館で開催される「ジュディ・オング情玉木版画の世界展」に当金庫は90周年事業の一環として、地域文化の発展に貢献するため特別協賛いたしました。

90th Anniversary



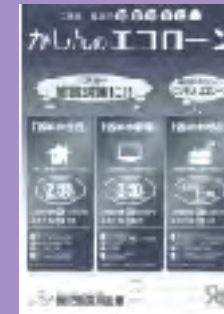
お勧め商品

「90周年記念定期預金」



〈かしん〉は、おかげさまで90周年を記念して、会員様には0.30%、一般のお客様にも0.20%と金利を優遇した定期預金です。募集総額80億円になり次第終了させていただきます。

「節電対策エコローン」



ご家庭・職場の節電対策にどうぞご利用ください。

カードローン「きゃっする300」



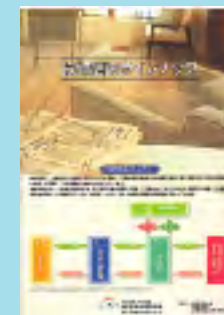
申込み手続き簡単!多くのお客様のニーズにお応えします。
・パート・アルバイトの方もOK!
・最高300万円まで。
・お使いみちはご自由です。(但し、事業性資金及び借換は除きます。)
・平日は15:00までのお申込みなら、うれしい原則即日回答です。

かしんフリーローン「モア」



お借換えもできる、お使いみちが自由な商品です。
・専業主婦・パートの方もご利用可能です。
・担保・連帯保証人は不要です。
・満20歳以上65歳以下の安定した収入が継続して得られる方
・最高300万円まで。

投資信託ラインナップ



当金庫では、お客様の資産形成にお役に立てるよう、預金の他に投資信託を取り扱っております。投資信託は値動きのある有価証券に投資しますので、元本が保証されているものではありません。投資信託をご購入の際は、その商品内容について詳しく説明した「投資信託説明書(交付目論見書)」等をよくご覧ください。

「きらめき新医療保険α」「アフラックの終身保険WAYS」



あなたやあなたの大切な人を充実の保障でしっかり支えます。大切な将来のために、かしこく備えて、ゆとりある未来を。

金融商品に関する勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、下記の事項を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとしております。

1. 当金庫は、お客様の資産運用目的、知識、経験および財産の状況に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・ご購入は、お客様ご自身の判断によってお決めいただきます。その際、当金庫は、お客様に適正な判断をしていただくため、当該商品の重要事項について説明いたします。
3. 当金庫は、誠実・公正な勧誘を心掛け、お客様に対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修を通じて役職員の知識の向上に努めます。
4. 当金庫は、お客様にとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。
5. 金融商品の販売等に係る勧誘について、ご意見やお気づきの点がございましたら、窓口までお問い合わせください。